



2019年6月28日

各位

会社名 イオンディライト株式会社
 代表取締役社長 濱田 和成
 兼社長執行役員
 (コード番号 9787 東証第一部)
 取締役兼常務執行役員
 お問合せ先 グループ戦略・デジタルソリューション統括 四方 基之
 (TEL. 03-6840-5712)

2019年2月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年4月11日に公表した2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	305,000	18,500	18,500	11,000	209.21
今回発表実績 (B)	302,915	13,030	13,362	6,415	122.92
増減額 (B-A)	△2,085	△5,469	△5,137	△4,584	
増減率 (%)	△0.7	△29.6	△27.8	△41.7	
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	292,396	12,909	13,381	6,397	121.68

※ (ご参考)前期実績(2018年2月期)は、過年度の決算訂正後の数値を記載しております。

2. 差異が生じた理由

当社は、2019年4月5日付「当社連結子会社における不適切な会計処理の判明および2019年2月期決算発表の延期のお知らせ」および2019年4月11日付「特別調査委員会設置に関するお知らせ」に記載のとおり、当社連結子会社である株式会社カジタク（以下、「カジタク」）において、不適切な会計処理が行われていることが判明したため、2019年4月11日付で、当社と利害関係を有しない外部の専門家による特別調査委員会を設置し、調査を開始いたしました。

その後、当社は、本日付「特別調査委員会の調査報告書開示および今後の対応に関するお知らせ」に記載のとおり、6月27日に当該調査委員会より調査報告書を受領し、かかる調査により、カジタクが過去複数年にわたり、不正な会計処理を行っていたことが明らかとなりました。

これらの会計処理の訂正の影響により、2019年2月期の連結経営成績においては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも減少し、業績予想値との間に差異が発生いたしました。

以上